



晴天潮干狩り

今年で3回目の潮干狩り。3度目の正直というのか、ついに晴天のもと行うことができました。うちの兄は「暑そうー」と言っていました。曇り空の干潟がどれだけ灰色か、雨の日に深くもぐったアサリを探す心境がどんなものか…。到着した江川海岸にはすでに大勢の人。向こうに見えた隣の海岸にも大勢いました。5月28日の11時は絶好の潮干狩り日和です！

貝を探るにあたってまず注意することは、みんなが中身のない貝がらを網にいれないか。そういう人が数人はいます。初参加の荒木さんもそう！以前、大量に持ち帰った人がいまして、割れた片側だけの貝がらをとるなんて全くの盲点でした。網を一杯にすることが目的になる、掘って探すのが面倒くさい、などと理由は考えつ

けますが、「あなたそれお椀に残しているよね？」と今でも思っています。まあ、20分ほどあれこれ言っているうちに無事(?)みんな理解しました。あとはたくさん採るだけ！



収穫高の少ない人がいないか見て回っていると、幸坂さんや花房さん、川口さんは一人でどんどんとります。心配なし。(失礼ながら)予想外に青木さんも。逆の方向に予想外なのが花田さんで、掘りかたが浅いし少ない。そういう人とは「もっと掘って。手ごたえ感じたら手で探して」と一緒に探します。で、僕が見つけた中から少しあげます。渡すものを何個か貯めていると、そっと手が。桑原さんです。「ちょっと、それはあなたのじゃないから！」桑原さんと田沢さんはずっと僕についてきていました。貝の多いス

ポットならともかく、他の人の為にとってある貝まで取るのはやりすぎ。(桑原さんは自分でよく掘っていて、その時はあげていました。少しずるがしいところがあるけど基本まじめです。)そんなおこぼれ狙いの代表だった鄭さんが今年も自発的でした。前日にご家族が写真を見せて「これ(アサリ)を取ってくるんだ」と教えていたとか。今年もみんな大丈夫だと安心しながら、最後に白井さんのところにいくと「ダメだ、ぜんぜんおらん」と、初めて聞く関西弁が飛び出す収量でした。

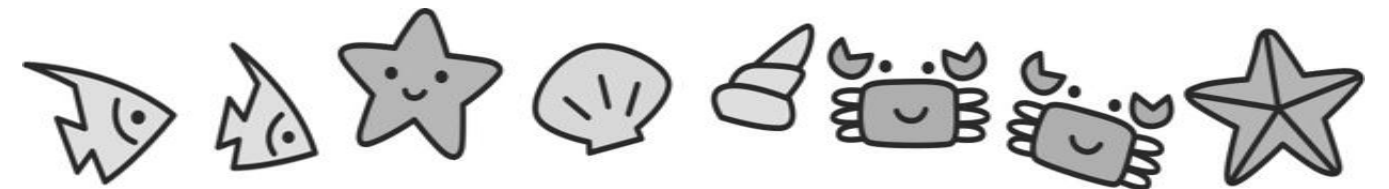


残り時間は多くなかったので一緒にスポットを探しましたが、「あかん、今日はぜんぜん採れん。」「嘆いても見つからないから、手を動かすしかないから」、それまで順調に探っていた僕もパタッと見つからなくなってしまいました。そこへ「ここめっちゃいる！」と秋葉さんの声。彼は過去の収穫系イベントで不運が続いて、この日まで乗り気でなかったのですが、今回は3年分の喜びまで収穫した様子でした。白井さんに行くように声をかけると、「ダメ、来なくていい。」「白井さんまだ少ないから分けてやってくれ」と網を見せると「そうなのか、それは仕方ないな」と秋葉さん。苦しみをかえて男は器が少し大きくなりました。

最後の方は自然と全員合流して、少なめの方が取れるように声を掛け合っていました。すでに網いっぱい



の秀島さんは「もうとらなくていいよ」とお母さんに言われていましたが、「裕さん少ないからね」と一緒に掘ってくれました。白井さんも「大きいのおった！」と関西弁のままですがますますの収量になり、終わるところへ、やはり網いっぱいの秀島さんのお母さんから「これみんなで分けて」と結構な量のアサリをいただきました。みんなでワーワー言いながら、全員お土産もたくさんで本当に良い潮干狩りでした。(榎崎)



<花売り情報>

6月 4日(日) ハート&ハート(佐野地域学習センター 足立区佐野 2-43-5)

住宅デー(扇東公園)

住宅デー(はんの木橋公園)

6月1日(木)・20日(火)・28日(水) 竹ノ塚センター

6月14日(水) ビッグ・エー花畑店

6月15日(木) ベルクス南花畑店

6月21日(水) ビッグ・エー南花畑店

6月22日(木) ベルクス古千谷店